

第28回 プレイエル 小音楽会

The 28th PLEYEL Mini Concert in CHOKOKAN

2023年12月23日 土
於 徴古館 演奏 北島千夏子さん

午前の部 | 午後の部
11:00 | 14:00

※開場は各回開演30分前

料金 1,500円

定員 各回40名(要事前予約)

要予約

徴古館webページ



0952-23-4200

PLEYEL



徴古館

The Museum CHOKOKAN
NABESHIMA

profile

北島 千夏子

Kitajima Chikako



佐賀市生まれ。
 東京音楽大学付属高等学校を首席で卒業し、優等賞受賞。
 東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業、同声会賞受賞。
 ウィーン国立音楽大学夏期講習にてディプロマ取得。
 チェコ音楽コンクール最優秀共演者賞受賞。
 ソロリサイタルをはじめとし、様々なコンサートに多数出演。
 チャイコフスキー作曲ピアノ協奏曲、グリーグ作曲ピアノ協奏曲、ベートーヴェン作曲ピアノ協奏曲第3番をオーケストラと共に演じるほか、来日アーティストとの共演も重ねる。
 2014年ウィーンにてソロリサイタルやサロンコンサート等に出演。
 2017年8月に活動拠点を佐賀県に移す。
 2020年に佐賀県芸術文化奨励賞受賞。
 これまで故執行みずほ、清流裕子、故杉山千賀子、故中島和彦、関根有子、故勝谷壽子、故ハリナ・ツェルニー＝ステファンスカの各氏に師事。
 九州龍谷短期大学非常勤講師、佐賀県音楽協会会員、東京芸術大学同声会会員。

program

ショパン 作曲

舟歌

エオリアンハーブ

黒鍵

ピアノ協奏曲第1番第2楽章より

リスト 作曲

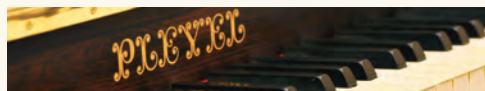
愛の夢

坂本龍一 作曲

戦場のメリークリスマス

ほか

PREYER



イグナツ・プレイエル(Ignace Joseph Pleyel 1757-1831)により、1807年パリに創設されたプレイエル社が製造するピアノ。プレイエルには、打弦音をできるだけおさえる設計がほどこされているため、余計な雑音を消し、木のあたたかい響きをふんだんに出すことにより、香りたつような音色を醸し出します。1832年に、プレイエルの音楽堂でパリにおける最初の演奏会を開いたピアノの詩人ショパンは、それ以後この楽器を愛し、生涯使い続けたといわれています。プレイエルの伝統はデリケートな音色や楽なタッチに生かされ、フランスにおけるもっとも優れたピアノのひとつとされています。

徴古館のピアノプレイエルは、朝香宮鳩彦王第一王女紀久子様昭和6年(1931)、鍋島直泰様(13代)に降嫁される際に婚礼調度としてフランスで誂えられたもの。婚礼調度目録によると、「マークワ撰バス、音ノ良キモノ」と記されています。フランスからもたらされたプレイエルのやわらかな音色は、渋谷・神山にあった鍋島邸の居間で、また大磯の別荘で御一家に癒しのひと時を与えたことでしょう。1年半に及ぶ修復の完成を記念して2011年から開催しているプレイエル小音楽会も、今回で28回目を迎えます。

ミニ展示

プレイエル小音楽会にご参加の方のみご覧いただけます

第28回「プレイエル小音楽会」に合わせて、季節(冬)や音楽にちなんだ掛軸を数点展示いたします。普段の企画展ではあまり出品しない作品をご覧いただけます。プレイエルの素敵な音色とあわせて、ぜひご鑑賞ください。



交通アクセス

- 長崎自動車道 佐賀大和I.C.から、市街方面へ車で約20分。松原公園駐車場(徴古館前)等近隣の駐車場をご利用ください。
- 佐賀駅バスセンターから、市営・昭和・祐徳の各バスで「県庁前」または「佐嘉神社」下車
- JR佐賀駅から、県庁方面へ徒歩約20分

お問い合わせ

info@nabeshima.or.jp
<https://www.nabeshima.or.jp>
 0952-23-4200 (公益財団法人鍋島報效会)



徴古館
 The Museum CHOKOKAN
 NABESHIMA